

所 属	環境生活部文化振興課		29 年度担当所属名
係 名	文化企画係	内線	2464 環境生活部県民文化局文化創造課

「ぎふ清流文化プラザ」における県民参加型の文化振興事業の展開

- 1 事業費 110,000 (前年度90,000)
【財源内訳】 【主な用途】
一般財源 110,000 委託料 110,000 (業務委託料)

2 背景・事業目的

平成27年9月にリニューアルオープンした「ぎふ清流文化プラザ」は、「子ども、若者など次世代の文化芸術の担い手を育成し、県民参加による新たな文化を創造するための拠点」、「障がい者の文化芸術活動の拠点」として、県民に定着し親しんでいただけるよう事業展開を図ってきた。

今後も、さらに多くの人が集い、そして人を育てていくための文化芸術を創造する「場」として機能するよう、魅力ある文化振興事業を推進する。

3 事業概要

ぎふ清流文化プラザ企画事業開催費(110,000千円)

ぎふ清流文化プラザの基本コンセプトに基づき、子ども、若者、障がい者による県民参加型事業に加え、本県が誇る伝統文化の公演などを通じ、地域活性化や次世代の文化芸術の担い手の育成事業の展開に取り組む。

○長良川ホールでの主な企画事業

- ・清流の国ぎふ地歌舞伎公演 (春・秋・子ども歌舞伎)
全国最多を誇る29の地歌舞伎保存団体による公演
- ・民謡、日舞・洋舞公演、岐阜県伝統民俗芸能大会
県内の文化団体等による公演
- ・清流プレミアムコンサート (年4回程度)
質の高い文化に触れる機会を創出する一流アーティストによる公演

○文化芸術県民ギャラリーでの主な企画事業

- ・tomoni プロジェクト展
障がい者アート作品とデザイナー等がコラボレーションした作品展
- ・障がい者芸術企画展
障がい者芸術家による企画展

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名)	○文化施設管理費	
	ぎふ清流文化プラザ管理運営費	

所 属	環境生活部文化振興課			29 年度担当所属名
係 名	文化振興係	内線	2455	環境生活部県民文化局文化伝承課

県美術館の魅力向上と賑わいづくり

1 事業費 92,939 (前年度81,533)

【財源内訳】

使用料及び手数料	6,933
諸収入	3,938
一般財源	82,068

【主な使途】

委託料	55,742	(業務委託料)
負担金	19,016	(実行委員会等)
需用費	8,630	(教材費等)

2 背景・事業目的

県美術館では、これまで様々な企画展の開催を通じ、芸術に触れ合う機会を県民に提供してきた。さらに、平成27年度からは、今まで美術館に足を運んでいただけなかった多くの方に、身近に芸術に触れ合うきっかけを提供する新たな取組みとして、敷地内の庭園を活用した「アートまるケット」を開催するなど、県美術館の魅力向上に取り組んできた。

今後は、県図書館を含む周辺エリアが一体で広く魅力を発信するなど、文化・芸術を通じた賑わいづくりを推進する。

3 事業概要

(1) 来館者拡大のための県美術館の魅力向上(89,349千円)

所蔵品展及び各種企画展のほか、敷地内の庭園を利用した「アートまるケット」の開催により、引き続き来館者の拡大と賑わいの創出を図る。

新(2)文化の森の賑わい創出(2,000千円)

県図書館と県美術館周辺を「文化の森」と位置付け、両館の間の道路を歩行者天国にし、各種ワークショップ等を開催するなど、県民がエリア一体で文化芸術に触れ合う機会と賑わいの創出を図る。

(3) 館外での美術館の魅力発信及び普及(1,590千円)

県民の芸術への関心を喚起するため、教育普及活動(ワークショップ)を館外でも実施するとともに、市町村が有する美術館等で展示会を開催するなど、遠方の方でも身近な場所で県美術館の所蔵品を鑑賞できる機会を提供する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○美術館費	美術館管理運営費	美術館展示費
	○総合文化推進費	
	総合文化行政施策推進費	

所 属	環境生活部文化振興課			29 年度担当所属名
係 名	文化企画係	内線	2464	環境生活部県民文化局文化創造課

清流の国ぎふ芸術祭の開催

1 事業費 70,480 (前年度122,500)

【財源内訳】

【主な使途】

一般財源	70,480	負担金	66,981(実行委員会)
		報償費	1,187(委員謝金等)
		旅費	1,055(委員費用弁償等)

2 背景・事業目的

本県の美術活動の振興普及を目的に、昭和21年度から開催してきた岐阜県美術展を刷新し、平成29年度より、3年に1回の全国規模の公募展と、その間に2回の県民参加型の公募展を、「清流の国ぎふ芸術祭」として開催する。

第1回となる全国規模の公募展「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」を、新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、さらには県民への新たな形のアート鑑賞機会の提供を目的に、平成29年4月から岐阜県美術館にて開催する。

加えて、平成30年度の開催に向け、県民参加型の公募展の企画及び運営について検討を進める。

3 事業概要

(1) 清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 実行委員会への負担金(66,981千円)

展覧会の運営とともに、オープニングセレモニー、関連イベント及び教育普及事業を実施する。

<清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 の概要>

◇会期 平成29年4月15日(土)～6月11日(日)

◇会場 岐阜県美術館

◇キューブ(D4.8m*W4.8m*H3.6m)の中に、公募テーマ「身体のゆくえ」を解釈・表現する15作品を展示(※分野・技法・手法は問わない)。

(2) 清流の国ぎふ芸術祭の開催検討(3,499千円)

平成30年度から新たに開催する県民参加型公募展「清流の国ぎふ芸術祭」のあり方について、有識者で構成する清流の国ぎふ芸術祭運営委員会等にて検討を進める。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (2) 企画調査費
(明細書事業名) ○文化祭推進費		
岐阜県民文化祭開催費		

所 属	環境生活部環境生活政策課			29年度担当所属名
係 名	生活・交通安全係	内線	2390	環境生活部 県民生活課
	コミュニティ・生涯学習係	内線	2395	
所 属	環境生活部県民生活相談センター			
係 名	企画係	内線	70-2312	

暮らしの安全・安心を守る取組みの推進

1 事業費 9,518 (前年度 1,971)

【財源内訳】

【主な用途】

国庫 1,309 委託料 4,406 (教材作成費等)
一般財源 8,209

2 背景・事業目的

県民の安全・安心な暮らしを確保するため、交通事故防止対策や防犯対策、消費者トラブルなど、個人や地域が一体となり未然に防止するために必要な情報を一元化して発信する。

併せて、県民一人ひとりの安全意識の醸成を図り、安全・安心な地域づくりを実践できる人材を養成する。

3 事業概要

新 (1) 暮らしの安全教育教材の制作と普及

○教材の制作 (3,790 千円)

県内の小学6年生を対象に、日常生活に即した「暮らしの安全情報」を分かりやすく伝える教材を作成、配布し、学校や家庭で学んでいただく。また、高齢者世帯を直接訪問して、トラブル事例を示しながら教材を配布し、トラブルの未然防止を図る。

○モデル校の指定 (1,309 千円)

県内小・中・高等・特別支援学校各1校を「暮らしの安全モデル校」に指定し、学校全体で暮らしの安全に関する項目に取り組みながら高い学習効果が得られる方法を研究・発信する。

○出前講座の実施 (2,799 千円)

県内各地に警察職員、消費生活相談員等が、交通安全、防犯、消費者トラブル等についての心構えのほか、個人や地域全体で対処できる方法等を伝える出前講座を実施する。

(2) 地域の課題解決に向けた地域活動の担い手養成 (1,620 千円)

若者の地域参加を促進するため、新たに大学と連携して学生による地域活動のきっかけづくりを進めるほか、地域の方を対象として、課題解決に向けた活動を実践する講座を開催する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (9) 県民生活行政費
(明細書事業名)	○社会参加活動費	
	地域コミュニティ活動推進費	
(明細書事業名)	○生活安全推進費	
	生活安全推進費	
(明細書事業名)	○消費者対策費	
	消費者啓発費	

所 属	環境生活部自然環境保全課		29 年度担当所属名
係 名	自然公園係	内線	2698 環境生活部環境企画課

新 中部山岳国立公園活性化プロジェクトの推進

1 事業費	12,200	(前年度	0)
【財源内訳】		【主な使途】	
一般財源	12,200	委託料	11,592 (計画策定等)

2 背景・事業目的

乗鞍岳を中心とした中部山岳国立公園は、貴重な動植物や優れた山岳景観など多くの方に訪れていただける、魅力ある資源を有しているが、施設・設備の老朽化が進み、近年、利用者が減少している。

現在、国において、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、国立公園の訪日外国人利用者数を1000万人に倍増することを目標とした「国立公園満喫プロジェクト」が進められている。

本県においても、中部山岳国立公園の更なる利用促進を図るため、同公園の魅力向上に向けた調査検討を行う。

3 事業概要

中部山岳国立公園活性化に向けた調査検討 (12,200 千円)

地元関係者等と協議会を設置し、同公園の魅力向上に向けた調査検討を行う。

【中部山岳国立公園】

岐阜県(高山市、飛騨市)長野県、富山県、新潟県にまたがる飛騨山脈(北アルプス)を中心とした国立公園。標高3,000m級の山々が連なり、峡谷、高山植物群落、原生林など、優れた山岳景観を誇る。



乗鞍畳平に広がる「お花畑」
(写真提供：飛騨乗鞍観光協会)



ライチョウの生息地

(款) 4 衛生費 (項) 6 環境管理費 (目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○ 自然公園費
自然公園振興費

所 属	環境生活部自然環境保全課	29 年度担当所属名
係 名	自然環境企画係 内線 2696	環境生活部環境企画課

新 白山開山1300年「山の日」シンポジウム（仮称）の開催

1 事業費	3,200	(前年度	0)
	【財源内訳】	【主な用途】	
	一般財源 3,200	委託料	2,222 (開催委託等)

2 背景・事業目的

「山に親しみ、山の恩恵に感謝する」ことを目的に、平成28年から8月11日が新たに国民の祝日「山の日」となった。

「山の日」の趣旨に基づき、山の持つ歴史、文化、自然環境等の様々な価値について学ぶことを目的としたシンポジウムを開催することで、「清流の国ぎふ」の源となる郷土の山々について、その魅力を県民に発信し、郷土の自然を活かし、守り、共生するための自然環境保全意識を普及・啓発する。

3 事業概要

シンポジウムの開催 (3,200 千円)

平成29年は白山が開山されてから1300年の節目の年であり、これを記念して、白山信仰や歴史文化、豊かな自然環境といった郷土の山が育んできた魅力を発信し、次世代へつなげていくためのシンポジウムを開催する。

開催月：平成29年7月（予定）

場 所：郡上市

内 容：基調講演

パネルディスカッション

エクスカージョン(体験型の見学会)

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○自然公園費		自然公園振興費

所 属	環境生活部環境管理課	29 年度担当所属名
係 名	温暖化対策係 内線 2694	環境生活部環境企画課・環境管理課

【新】 地球温暖化対策「ぎふ清流 COOL CHOICE」の推進

1 事業費 10,000 (前年度 0)

【財源内訳】 【主な用途】

一般財源 10,000 委託料 9,022 (啓発ブース設置委託等)

2 背景・事業目的

地球温暖化防止を世界全体で取り組んでいくための枠組みである「パリ協定」が発効し、世界各国においてその取り組みが加速している。我が国においても、温室効果ガスを2030年度に2013年度比で26%削減する目標を掲げ、産業、運輸、業務、家庭の各部門においてあらゆる角度から地球温暖化対策を進めている。

中でも4割もの削減が必要な家庭部門の対策として、国は地球温暖化対策に資する“賢い選択”を促す「COOL CHOICE (クールチョイス)」を旗印とした普及啓発活動を推進している。

本県においても、「ぎふ清流COOL CHOICE」をキャッチフレーズとして、多くの県民が地球温暖化対策について考え、実行する機会を提供することで、環境に配慮した行動ができる人材を育成し、温室効果ガスの排出削減を進める。

3 事業概要

(1) 地球温暖化対策普及啓発ブースの設置 (4,847 千円)

商業施設において、地球温暖化対策普及啓発ブースを設置し、パネル展示やクイズラリーなどを実施することで、“賢い選択”を促すために必要な省エネ対策や地球温暖化の現状について知る機会、考える機会を提供する。

(2) クールシェア (夏季)・ウォームシェア (冬季) の推進 (3,986 千円)

家庭のエアコンを消して公共施設や商業施設等に出かけるなど、涼しさ、温かさを共有する「クールシェア・ウォームシェア」を推進するため、協力施設に関する情報発信やチラシ等を活用した啓発を行う。

(3) 地球温暖化対策講座の開催 (1,167 千円)

「エコドライブ講習会」、「省エネクッキング教室」など実習を交えた地球温暖化対策講座を開催する。

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名)	○生活環境確保推進費	
	地球温暖化防止総合対策事業費	
	環境保全推進事業費	

所 属	環境生活部自然環境保全課			29 年度担当所属名
係 名	生物多様性係	内線	2700	環境生活部環境企画課

狩猟者の育成・確保の推進

1 事業費 14,448 (前年度 9,862)

【財源内訳】

【主な使途】

一般財源	3,988	委託料	5,511 (研修開催委託等)
使用料及び手数料	10,459	印刷製本費	3,184 (狩猟者手帳等)
諸収入	1	補助金	1,120

2 背景・事業目的

近年、中山間地域などにおいて、シカ、イノシシ、サルなどの野生鳥獣による農林業被害が深刻化・広域化している。一方で、狩猟免許所持者は減少・高齢化の傾向にあり、若年層を中心とした捕獲の担い手の育成や確保が課題となっている。

そのため、免許取得に関心のある方への講習会の開催、狩猟免許試験の週休日開催、免許所持者が狩猟のベテランから知恵や経験を学ぶ現地研修等を実施し、狩猟者の確保及び定着を図る。

3 事業概要

(1) 狩猟者の技術向上のための研修会開催等 (13,328 千円)

- ・ 狩猟者を確保するための講習会の開催
- ・ 狩猟免許試験、狩猟免許更新、狩猟者登録の実施
- ・ 捕獲技術習得実地研修会の開催
- ・ 狩猟者事故防止研修会の開催
- ・ 狩猟者手帳の作成

(2) 猟友会育成強化事業費補助金 (1,120 千円)

- ・ (一社) 岐阜県猟友会が実施する狩猟者の技術向上等を目的とした事業に対して、経費の一部を助成する。

射撃指導事業 (射撃大会の開催、参加)

狩猟指導事業 (狩猟事故防止指導員の設置、広報活動)

有害鳥獣捕獲指導事業 (実地研修会の開催) 等

(款) 4 衛生費	(項) 6 環境管理費	(目) (2) 環境管理推進費
(明細書事業名) ○鳥獣保護費		
		狩猟者指導費

所 属	環境生活部廃棄物対策課		
係 名	産業廃棄物係	内線	2719

新 PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の処理の推進

- 1 事業費 22,000（前年度 0）
 【財源内訳】 【主な用途】
 一般財源 22,000 委託料 21,761（フォローアップ調査委託）

2 背景・事業目的

県では、ポリ塩化ビフェニル（PCB）（※1）廃棄物の適正な処理に向けて啓発を進めてきた。

平成28年度に「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」が改正され、法定処理期限（※2）が定められたことから、県内に存在する全てのPCB廃棄物がこの期限までに確実に適正に処理されるよう、県内の保有状況を把握し、保有者に対して早期の処分を指導する。

3 事業概要

（1）PCB廃棄物の保有状況調査の実施（21,761千円）

PCB廃棄物の保有の可能性が高い自家用電気工作物設置者を対象にPCB廃棄物の保有状況について調査を行う。

（2）PCB処理推進連絡会の開催（239千円）

各種関係団体を対象にPCB廃棄物処理に関する情報提供及び意見交換を行う。

※1 PCB：燃えにくい、電気を通しにくいなどの性質を持つ油の一種で、工場やビル、電車などのトランス（変圧器）やコンデンサ（蓄電池）、蛍光灯の安定器等に用いられていたが、有毒性が指摘され、昭和49年6月以降、製造、輸入が禁止された。

※2 PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法が平成28年度に改正され、次の処理期限が定められた。

種別		処理期限
高濃度PCB廃棄物	トランス、コンデンサ等	平成34年3月31日
	安定器等	平成33年3月31日
低濃度PCB廃棄物		平成39年3月31日

（款）4 衛生費 （項）6 環境管理費 （目）(2) 環境管理推進費
 （明細書事業名）○産業廃棄物対策費
 処理監視指導費

所 属	環境生活部私学振興・青少年課		
係 名	私学助成係	内線	2460

私立学校教育の振興

<子育て支援対策臨時特例基金事業>

1 事業費 11,840,383 (前年度 11,791,955)

【財源内訳】

【主な使途】

国庫 3,637,433

補助金 11,683,282 (学校法人)

繰入 12,125

扶助費 157,101 (私立高校生等)

一般財源 8,190,825

2 背景・事業目的

私立学校は、建学の精神と独自の教育理念に基づく特色ある教育活動を行っており、本県の学校教育において重要な役割を果たしていることから、特色ある学校づくりや教育環境の充実など私立学校教育の振興について支援を行うとともに、保護者の経済的負担軽減を図る。

3 事業概要

私立小・中・高等学校、私立幼稚園及び私立専修学校等を運営する学校法人等に対し、教育に要する経常経費等に対して助成するとともに、私立高校生等の保護者に対して、教育費（授業料、教科書費等）の支援を行う。

(1) 私立高等学校等教育振興費補助金(4,982,896千円)

- ・特色ある学校づくり(学校特色化支援事業、体験学習の推進等)
- ・個性化教育の推進(国際理解教育の推進、部活動活性化等) 等

(2) 私立幼稚園教育振興費補助金(4,272,774千円)

- ・特色ある先導的な取組みの推進
- ・教育環境の充実(教員研修の促進、人材確保推進等) 等

(3) 私立専修学校等教育振興費補助金(147,734千円)

- ・教育環境の充実(I T教育の推進等)
- ・個性化教育の推進(地域社会貢献生涯学習機能等) 等

(4) 認定こども園施設整備事業費補助金(90,267千円)

- ・幼児教育と保育を一体的に提供する認定こども園の施設整備に要する経費を助成する。 <子育て支援対策臨時特例基金事業>

(5) 私立高等学校生徒等就学支援(2,346,712千円)

- ・私立高校生等がいる世帯の授業料等の教育費負担を軽減するため世帯所得に応じて助成する。

新・私立小中学生がいる世帯の授業料負担を軽減するため低所得世帯に対して新たに助成する。

(款) 10 教育費 (項) 1 教育総務費 (目) (8) 私立学校振興費

(明細書事業名) ○私立学校振興助成費

私立高等学校等教育振興費補助金 私立幼稚園教育振興費補助金

私立専修学校等教育振興費補助金 私立学校等施設整備費補助金

私立高等学校等就学支援費 私立高等学校等授業料軽減補助金